

平成 30 年度

市政モニターアンケート調査結果
【 防災情報の取得と避難意識について 】



長 崎 市
防災危機管理室

1. 調査の目的

気象警報や避難勧告などの防災情報を市民の皆さまに迅速かつ確実にお伝えするため、防災メールの登録促進について、自治会行事、講話、避難訓練などの機会を活用して、啓発活動を行ってまいりました。

前回調査から、3年経過した現在、認知度や利用度にどのような変化があるのか把握・分析し、今後の啓発活動の参考にすることを目的としています。

また、市民の皆さまの避難所への避難についての意識を把握し、今後の避難の啓発活動の参考とすることを目的としています。

2. 調査の概要

調査期間：平成30年5月30日～平成30年6月13日

送付数：230人（郵送モニター 189人 インターネットモニター 41人）

回答率：92.2%（212人）

（郵送モニター 183人 インターネットモニター 29人）

3. 調査結果

今回の調査で、7割以上のかたが気象情報や避難勧告等の防災情報を防災行政無線やテレビ・ラジオ放送で取得していることが分かりました。

その一方で、防災メールについては、8割以上のかたが登録をしていないと回答し、特に20～30代のかたが登録していない割合が大きいという結果がでました。登録をしていない理由については、「防災メールを知らなかった（49.7%）」「知っているが、登録の仕方が分からない（17.2%）」という意見が多く、前回と同様の結果となりました。

防災メールは、市外等の外出先や防災行政無線の放送が聞こえにくい場所でも、防災行政無線の放送内容を即時に確認できる有益な情報ツールであることから、周知方法の研究や、更なる登録促進に努めてまいります。

避難所に関する質問については、半数近くの人が「避難先を決めていない」と回答しています。自分の命は自分で守るという意識を持ち、日頃から災害が発生した際にどこに逃げるのかなどを考えていただいて、防災意識を高めてもらえるよう、より一層啓発活動を行ってまいります。

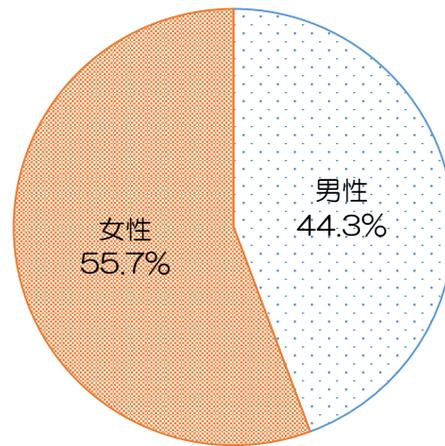
4. 調査結果の見方

調査結果の数字は、百分率で表記しているものがあり、百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入して、小数点第1位まで表記しています。そのため、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。

また、複数回答可とした設問においては、合計が100%を上回る場合があります。

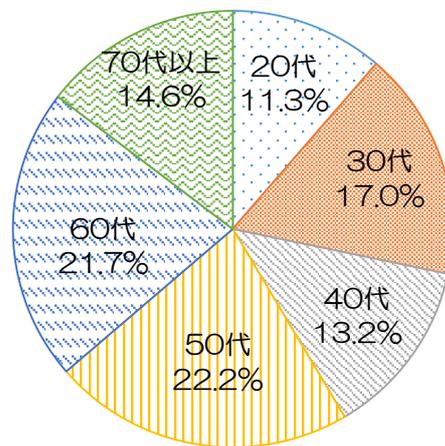
問1 あなたの性別をお答えください。

選択肢	回答者数	割合
男性	94人	44.3%
女性	118人	55.7%
合計	212人	100.0%



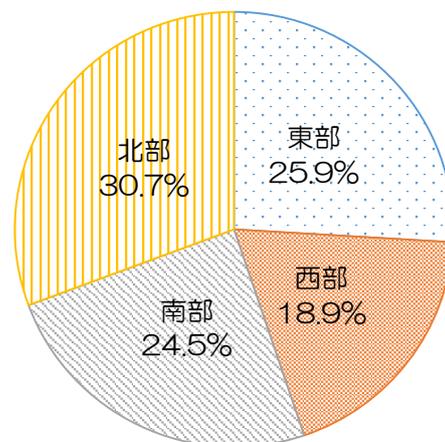
問2 あなたの年齢を選択してください。

選択肢	回答者数	割合
20代	24人	11.3%
30代	36人	17.0%
40代	28人	13.2%
50代	47人	22.2%
60代	46人	21.7%
70代以上	31人	14.6%
合計	212人	100.0%



問3 お住まいの町名を教えてください。

選択肢	回答者数	割合
東部	55人	25.9%
西部	40人	18.9%
南部	52人	24.5%
北部	65人	30.7%
合計	212人	100.0%

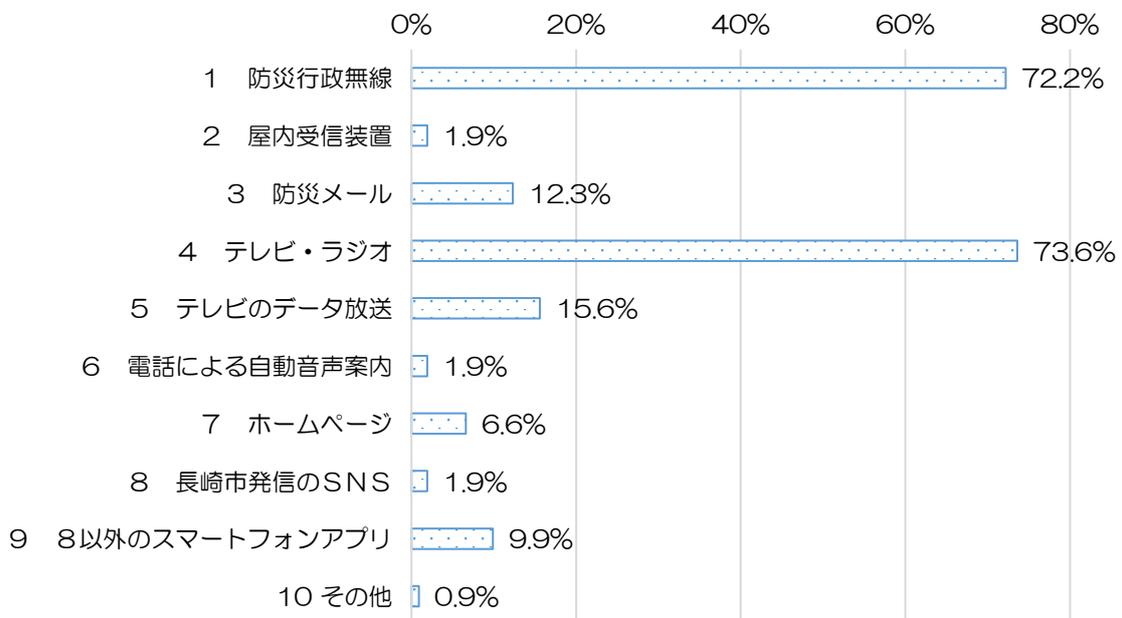


※ご記入いただいた町名をもとに、東西南北に分けて集計しています。

問4 気象情報や避難勧告等の防災情報はどのような方法で取得していますか。
よく利用する方法を2つまで選択してください。

選択肢	回答者数	割合
1 防災行政無線（屋外スピーカー）	153人	72.2%
2 屋内受信装置（防災ラジオ・戸別受信機）	4人	1.9%
3 防災メール	26人	12.3%
4 テレビ・ラジオ（ニュース・テロップなど）	156人	73.6%
5 テレビのデータ放送 （リモコンの『dボタン』を押すと表示）	33人	15.6%
6 電話による自動音声案内	4人	1.9%
7 ホームページ	14人	6.6%
8 長崎市発信のSNS（フェイスブック・ツイッター）	4人	1.9%
9 8以外のスマートフォンアプリ	21人	9.9%
10 その他	2人	0.9%

※複数回答のため合計が100%を超えます



<その他の回答>

- ・インターネット（2件）

気象情報や避難勧告等の防災情報を取得する手段として、テレビ・ラジオ放送が73.6%、防災行政無線が72.2%と多く、7割以上のかたが利用していることが分かりました。一方、その他の取得手段は、テレビのデータ放送が15.6%、防災メールが12.3%と低い結果となりました。

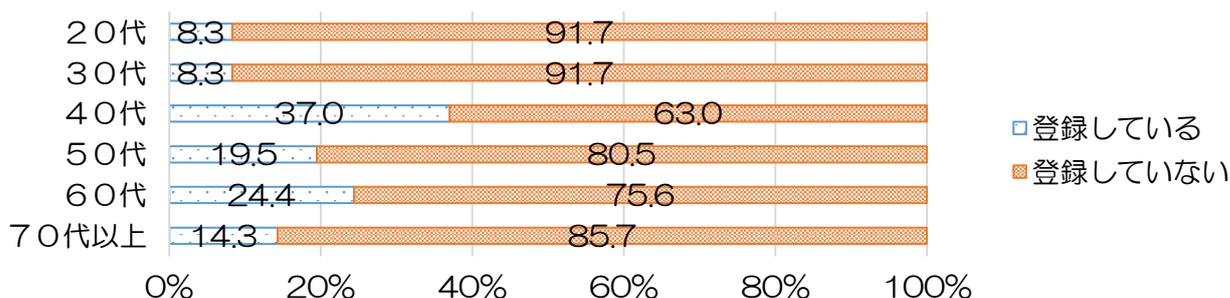
天候等の防災情報については、複数の手段で情報収集することが重要であるため、テレビのデータ放送や防災メールの登録、電話による自動音声案内などさまざまな取得手段について、今後とも周知を行ってまいります。

問5 携帯電話に防災情報が送られてくる「防災メール」を登録していますか。

選択肢	回答者数	割合
1 登録している	37人	18.8%
2 登録していない	160人	81.2%
合計	197人	100.0%

<年代別割合>

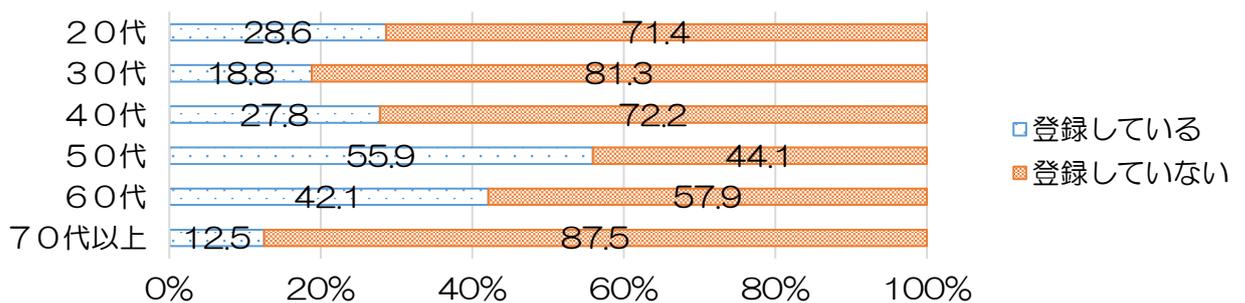
年代	登録している		登録していない		合計	
	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合
20代	2人	8.3%	22人	91.7%	24人	100.0%
30代	3人	8.3%	33人	91.7%	36人	100.0%
40代	10人	37.0%	17人	63.0%	27人	100.0%
50代	8人	19.5%	33人	80.5%	41人	100.0%
60代	10人	24.4%	31人	75.6%	41人	100.0%
70代以上	4人	14.3%	24人	85.7%	28人	100.0%



<参考：平成 27 年度調査>

<年代別割合>

年代	登録している		登録していない		合計	
	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合
20代	2人	28.6%	5人	71.4%	7人	100.0%
30代	3人	18.8%	13人	81.3%	16人	100.1%
40代	10人	27.8%	26人	72.2%	36人	100.0%
50代	19人	55.9%	15人	44.1%	34人	100.0%
60代	16人	42.1%	22人	57.9%	38人	100.0%
70代以上	1人	12.5%	7人	87.5%	8人	100.0%

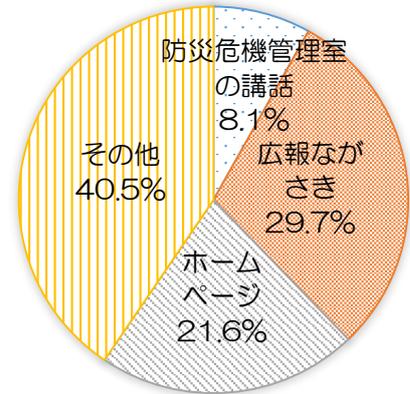


防災メールについては、8割以上のかたが登録していないと回答されました。20～30代のかたについては登録していない割合が大きいという結果がでました。また、前回の調査では登録している割合が大きかった50代、60代のかたについては、今回の調査で登録している割合が大幅に下がっています。

これまで、自治会や学校、企業等での防災講話や、防災訓練など、さまざまな機会において周知を図ってきましたが、より若い世代に周知する方法、より多くの人に周知できる方法について検討し、防災メールの登録者を増やすように取り組んでまいります。まずは各年代で半数の人が「登録している」と回答してもらえるように啓発に取り組んでまいります。

問6 「問5」で「登録している」と回答したかたに質問です。どこで「防災メール」の登録について知りましたか。

選択肢	回答者数	割合
1 防災危機管理室の講話	3人	8.1%
2 広報ながさき	11人	29.7%
3 ホームページ	8人	21.6%
4 その他	15人	40.5%
合計	37人	99.9%

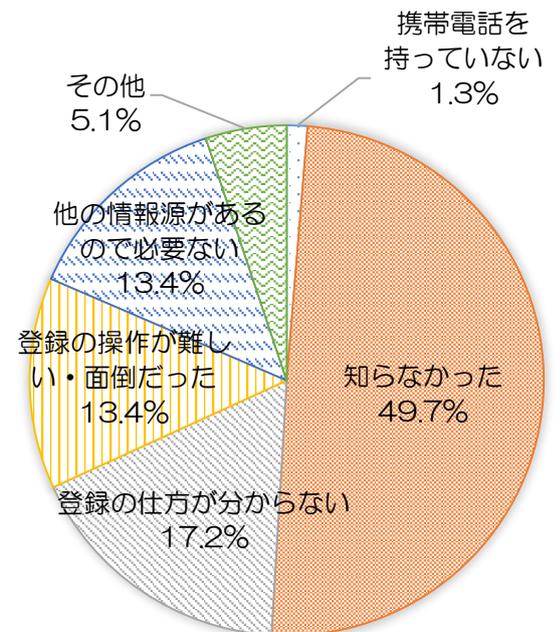


<その他の回答>

- ・知人・家族等の紹介（5件）
- ・携帯電話販売店（3件）
- ・職場（2件）
- ・携帯のアプリ・機能についていた（2件）
- ・記載なし（3件）

問7 「問5」で「登録していない」と回答したかたに質問です。「防災メール」を登録していない理由を教えてください。

選択肢	回答者数	割合
1 携帯電話を持っていない	2人	1.3%
2 「防災メール」があることを知らなかった	78人	49.7%
3 登録の仕方が分からなかった	27人	17.2%
4 登録の操作が難しい・面倒だった	21人	13.4%
5 他の情報源があるので必要ない	21人	13.4%
6 その他	8人	5.1%
合計	157人	100.1%



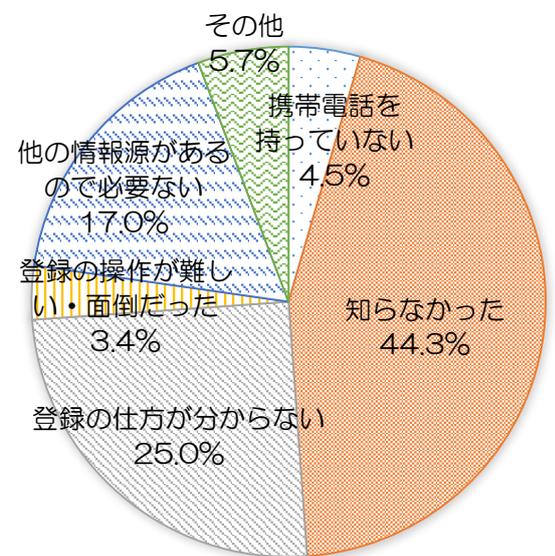
※無効票3人

<その他の回答>

- ・以前登録していたが解除した（3件）
- ・携帯電話会社から防災のメールが来るから（1件）
- ・家族が登録しているから（1件）
- ・携帯電話に機能がついていない（1件）
- ・ショートメッセージしか受信できない（1件）
- ・登録してないのにメールが来た（1件）

<参考：平成27年度調査>

選択肢	回答者数	割合
1 携帯電話を持っていない	4人	4.5%
2 「防災メール」があることを知らなかった	39人	44.3%
3 登録の仕方が分からなかった	22人	25.0%
4 登録の操作が難しい・面倒だった	3人	3.4%
5 他の情報源があるので必要ない	15人	17.0%
6 その他	5人	5.7%
合計	88人	99.9%



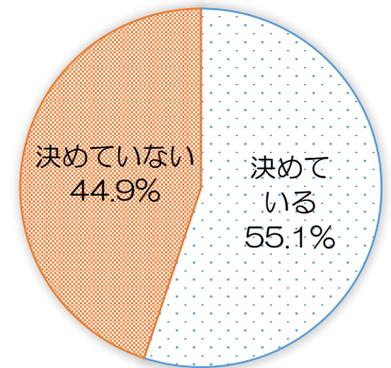
登録をしていない理由については、前回調査同様、「防災メールを知らなかった」が49.7%、「知っているが、登録の仕方が分からない」が17.2%と意見が多く、防災メールやその登録方法の周知が必要だと分かりました。

また、前回調査に比べ「登録の操作が難しい・面倒」という意見が大きく増加しています。登録の操作手順についてはホームページに掲載する等しておりますが、今後、自治会行事、講話、避難訓練など防災メール周知の際は、こういったご意見を踏まえ登録促進に取り組んでいかなければならないと考えます。

防災メールは、市外等の外出先や防災行政無線の放送が聞こえにくい場所でも、防災行政無線の放送内容を即時に確認できることから、有益な情報ツールです。そういった情報ツールを多く活用してもらい、情報収集を図ってもらうためにも、防災メールのさらなる登録促進に努めてまいります。

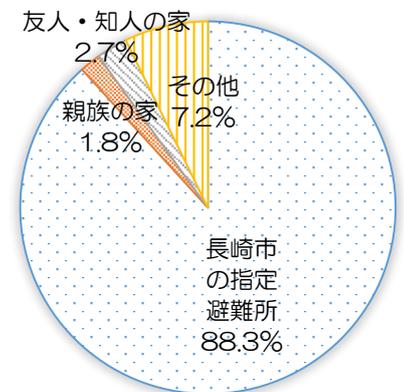
問8 災害が起きた時、または起きると予測される時の避難所を決めていますか。

選択肢	回答者数	割合
1 決めている	109人	55.1%
2 決めていない	89人	44.9%
合計	198人	100.0%



問9 「問8」で「決めている」と回答したかたに質問です。それはどこですか。

選択肢	回答者数	割合
1 長崎市の指定避難所	98人	88.3%
2 親族の家	2人	1.8%
3 友人・知人の家	3人	2.7%
4 その他	8人	7.2%
合計	111人	100.0%



<その他の回答>

- ・近くの学校（3件）
- ・近くの高台の建物（1件）
- ・近くの大きく丈夫な病院（1件）
- ・お寺（1件）
- ・自宅（2階など）（2件）

避難所に関する質問については、44.9%の人が避難先を決めていないと回答しています。災害の種類・時期（タイミング）によっては、指定避難所だけではなく、親族や友人の家なども有効な避難所となり得ます。また、指定避難所については、利用したい避難所が開設されていない場合もありますので、確認のうえ避難することが大切です。自分の命は自分で守るという意識を持ち、日頃から災害が発生した際にどこに逃げるのかなどを考えていただいて、防災意識を高めてもらえるように、より一層啓発活動を行っていきます。